

正 誤 表

「健康・栄養科学シリーズ 臨床医学（第2刷）」

下記の箇所に誤りがございました。謹んでお詫びし訂正いたします。

頁	該当箇所	誤	正
86	下から2行目	神経症	神経障害
87	4行目	神経症	神経障害
87	下から5行目	75g 経口グルコース負荷試験	75g経口ブドウ糖負荷試験
99	下から5行目	食事療法（飲酒含む）	食事療法（飲酒制限含む）
102	1行目	必須脂肪酸	必須アミノ酸
273	脇組 TIBC の4行目	TIBC は血中で鉄に結合できるトランスフェリンの総量を示し、 UIBC は鉄と結合していないトランスフェリンの量を示す	TIBC は血中でトランスフェリンに結合する鉄の総量を示し、UIBC は鉄と結合していないトランスフェリンに結合する鉄量を示す
278	19行目	溶血性貧血には、先天性と後天性があり、先天性溶血性貧血には遺 伝性球状赤血球症、サラセミアなどがあり、後天性溶血性貧血には 機械的な原因、免疫性、発作性夜間血色素尿症などがある。そのな かで、37℃の環境において赤血球に結合する温式抗体による自己免 疫性溶血性貧血が最も多い	溶血性貧血の原因は、先天性と後天性を含め多くみられるが、最も 多いのは、37℃の環境において赤血球に結合する温式抗体による自 己免疫性溶血性貧血である

2021年9月10日

株式会社南江堂